

“信州の木”建築賞における取組

《“信州の木”建築賞》 平成28年度～（7年目）



優秀な建築物を表彰することにより、木造建築に携わる技術者等のスキルアップを図るとともに、広く県民に木造建築の魅力を発信し、その普及に寄与することを目的に実施

○令和4年度 延べ面積が300㎡超で、多くの者が利用する建築物

○最優秀賞 1点、優秀賞 1点（応募数 5点）

最優秀賞：長野県林業大学校 学生寮棟

所在地 木曾郡木曾町

延べ面積 937.44㎡ **木材使用量：約220㎡ 県産材使用量：約220㎡**



- ・木曾産の定尺材や一般的な住宅用の金物を使用し、地元の職人の施工用によるHEAT20 G2レベルの断熱性能を実現

- ・県産材使用率はほぼ100%
木曾産材使用率も88.9%
柱には檜、横架材には唐松を使用

- ・チップボイラーや薪ストーブなど木質バイオマスエネルギーを利用



優秀賞：nagano forest village

『森の駅 Daizahoushi』

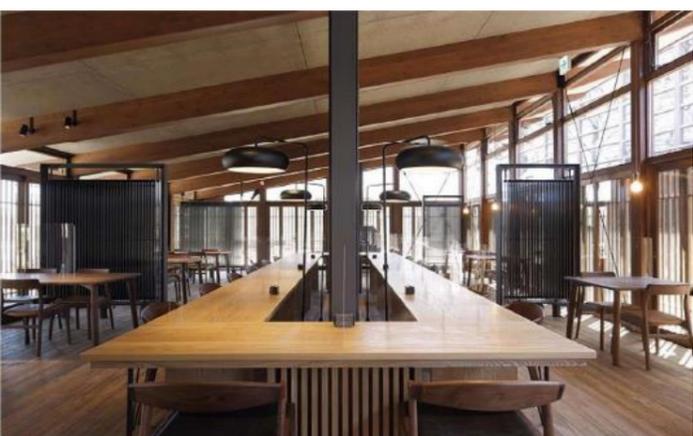
所在地 長野市

延べ面積 954.67㎡ **木材使用量：約220㎡ 県産材使用量：約170㎡**



- ・地元の設計者、施工者、木材業者や大工・建具・家具等の職人が徹底した木材利用の方針を共有した、2棟からなる飯綱高原の観光交流拠点施設

- ・敷地内の唐松を伐採し、190℃の高温処理して内外装材・建具に利用



- ・マルシェとカフェレストランの入る棟の空調は、地中熱を利用した輻射式冷暖房を採用